

コラムを活用する

及川正志

宮城県仙台市立第一中学校教諭

第1学年 コラムを読み解く

1 新聞活用のねらい

新聞のコラム欄は、その時々^{そのとき}の世相を反映して興味深い題材を提供してくれる。また、ほかの記事と比べ、筆者の考え方がしっかり出ている場合が多く、簡潔な表現で内容が読み取りやすい。そのため、生徒が興味をもって取り組むことができるので、魅力的な教材となる場合が多い。

新聞活用の初歩段階としてコラムを利用し、その内容をじっくりと理解し、読解力を高める活動を行う。

2 学習指導要領との関連

◎第1学年「C読むこと」の(1)のエ ……文章の展開を確かめながら主題を考えたり要旨をとらえたりすること。

●第1学年「C読むこと」の(1)のイ ……文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約すること。

●第1学年「言語事項」の(1)のウ ……事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙^{ごい}について関心をもつこと。

3 学習計画と指導のポイント

①コラムを読む

●初めに「百姓」という言葉の語感について、具体例を交えて話してから、記事を読ませる。 **資料①**

②語句の意味を理解する

●辞書で意味が不明な語句を調べ、内容理解を深める助けとする。語彙を増やす。 **資料②**

●関連して「数字を使った言葉」を考えさせる。

③段落ごとに要約する

●段落ごとに要約させることによって、記事の内容理解をより深めさせる。

④キーワードをヒントに筆者の考えを理解する

◎『侮蔑^{ぶべつ}』と『復権』という言葉に着目させ、筆者の考えを理解させる。

4 評価

●キーワードをヒントに、筆者が何を主張したかったのかが理解できたか。

●文章を段落ごとに簡潔に要約することができたか。

●日常生活で使っている言葉から、数字を使ってできている言葉に関心をもてたか。

総合的な学習の時間の

ワンポイントアドバイス



▶第1学年では、新聞に親しませることを第一義としたが、「数字を使った言葉」を考えさせる活動は、「総合的な学習の時間」で求める「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考える」力を育てる足がかりになると思われる。

▶日常生活で使われている「言葉」に興味をもつことは、知識偏重を戒めた「総合的な学習の時間」の趣旨にも合致する。

河北抄

新聞は原則「百姓」といふ言葉を用いながら述べている。世間に農民を侮蔑するよびな響きで使つ例があることを考慮しているからだ。

本堂に百姓は農民のことなのか。歴史的にいうと、それは誤謬だといふのが最近の研究らしい。歴史家網野善彦さんの「続・日本の歴史をよみなおす」(筑摩書房)などに詳しい。

歴史教科書に江戸時代の人口構成が載る。例えば秋田藩は農民七七割、武士一〇割、町人八割など。網野さんは、それでは秋田には漁民や山の民はいなかったのかと疑問を持った。

全国各地で調べた結果、百姓は農民を含めたさまざまな人だといふことが分かった。江戸時代の資料を読み解くとき、百姓を農民と置き換えたために生じた間違いだといふ。

百姓の字からしても、百姓は「たぐさんの」の意味で「あらゆる職業の人」だといふ。古代の百姓の訓はおおみたら「たみ」で官人に対する一般人民を指す。江戸時代でも百姓はいろいろな職業の人を含んでおり、地主を上回る大回船問屋さえいた。「百姓」は復権するかもしれない。

資料① 河北新報 1999.10.7付夕刊

資料② ワークシート (生徒の作品)

コラムを読み解こう

年 組 番氏名

(1) わからない語句があったら確認しよう。

- ☆ 侮蔑 ↓ 侮つてないがしろにすること。バカにすること。
- ☆ おおみたら ↓ 大御宝・百姓・公民・天皇治下の農民
- ☆ 回船問屋 ↓ (かいせんどういや) 貨物運送の取り次ぎを仕事とした問屋

【その他】

復権 ↓ 失われた権利や名誉が回復すること

(2) 『百姓』のように、数字を使った言葉を知っていたら書きなさい。

一期二云・五日晴れ・三味線・一揆・一石二鳥・糸一重・千代紙

(3) 一段落から五段落を簡単に要約しなさい。

一段落	新聞は「百姓」という言葉が、世間に農民を侮蔑するよう響きで使われる例が考えられているので、用いないことにしている。
二段落	しかし、それは誤謬だといふのが最近の研究らしい。
三段落	秋田藩は農民77%、武士10%、町人8%とあるが、それでは秋田に漁民や山の民はいなかったのだろうか。
四段落	調べた結果、百姓は農民を含めたさまざまな人だといふことが分かった。
五段落	百姓の字からしても、江戸時代でも百姓はいろいろな職業の人を含んでいる。「百姓」は復権するかもしれない。

(4) 『百姓』は、農民だといふ間違いがなぜ生まれたのですか。文中から読みとってまとめなさい。

江戸時代の資料を読み解くとき、百姓を農民と置き換えたため。

(5) 文中の「復権」という言葉をヒントにしなが、筆者は何を言いたかったのか、考えてまとめなさい。

「百姓」という言葉は世間に侮蔑しているように思われ、「百姓」と言われて嫌になる人もいるけど、それは間違いで、「百姓」は別に侮蔑されるような言葉ではないのだ。それを世間が認めれば、「百姓」は復権の可能性もある。

「百姓」は復権するかもしれない。

第2学年 創作四字熟語をつくろう

1 新聞活用のねらい

新聞の魅力は何といっても、その時事性であろう。第2学年では、住友生命の企画した創作四字熟語を題材としたコラムを活用して、この1年を振り返る手助けとしたい。また、創作四字熟語のもととなった四字熟語を考えることによって、難解で無味乾燥になりがちな語句の学習に、興味と関心をもたせる。

2 学習指導要領との関連

- 第2学年及び第3学年「言語事項」の(1)のイ……慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。
- 第2学年及び第3学年「C読むこと」の(1)のオ…目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。
- 第2学年及び第3学年「B書くこと」の(1)のウ…文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。

3 学習計画と指導のポイント

- | | |
|----------------------------|---|
| ①コラムを読む | ●解説を加えずコラムを読ませる。時間は十分とる。 資料① |
| ②各自の1年間を振り返る | ●この1年間の世相をもとにして、自分の1年間を思い出させる。 |
| ③コラムの創作四字熟語を確認する | ●創作四字熟語に印をつけさせる。 |
| ④グループで創作四字熟語の意味を確認する | ●グループで創作四字熟語の意味を考えさせる。話し合いが終わったところを見計らって、 資料2 を渡し、理解の徹底を図る。 資料② |
| ⑤もともなった四字熟語が何かを辞書を使って考えさせる | ●創作四字熟語のもとになった四字熟語は何かをグループで考え、どのグループが一番早く考えついたかを競わせ、意欲をもたせる。
● 資料3 を配布し、もともなった四字熟語を確認させ、理解の徹底を図る。 資料③ |
| ⑥オリジナルの四字熟語づくりに挑戦する | ●資料集などを使い、もともなる四字熟語から創作四字熟語を考えやすくする。
●あまり難しく考えず、意欲をもって取り組ませる。 資料④
●四字熟語の定義にこだわらない。
*本書基礎編では、新聞で使われている四字熟語を探す実践を紹介している。まず、新聞から四字熟語を探させ、それをもとにオリジナルをつくらせてもよい。 |
| ⑦発表会を開く | ●創作四字熟語の意味を分かりやすく伝えることができるよう工夫させる。 |

4 評価

- 創作四字熟語を参考に、もともなった四字熟語が何か理解できたか。
- グループで協力して課題を解決しようとしたか。
- 記事の四字熟語などを参考に、自分なりの創作四字熟語をつくろうとしたか。

総合的な学習の時間

ワンポイントアドバイス



- ▶「総合的な学習の時間」では、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断」することを重視している。この学習では興味、関心を引く新聞記事をもとに、与えられた学習をするのではなく、意欲をもって、自ら学ぼうとする教材として適している。
- ▶「総合的な学習の時間」では、「グループ学習」や「異年齢集団」などの多様な学習形態の積極的な活用を奨励しており、この学習形態は、これに合致している。

資料① 朝日新聞 1999. 12. 16付朝刊

天声人語
 街角で、縄のれんで、会議の席で。ごころ構わず携帯電話の着信メロディーが鳴る光景は、「着歌繚乱」といふべきか。住友生命が募った「創作四字熟語」を借り、この一年の世相を振り返ってみる▼といっても、浮かんでくるのは、暗い話題ばかり。その筆頭格は「ストラ」首切りだろ。中高年ともなれば「再職件微」で「無職当面」の日々。管理職も例外でなく、「課長風雪」に耐えねばならぬ▼トルコや台湾で、まさに「地震震鳴」の大地震が続いた。コソボや東ティモールでは人びとが逃げまどい、「安住模索」した。海は海で「又禍海峡」の海賊に日本人船長らも襲われた。JRのトンネルは、あいつぐ「落下老石」のお粗末▼伏魔殿の国際オリンピック委員会(IOC)が改革方針を決めたが、中身は「招致千万」だった。政界に目を転じると、特記事項の一つはもめ抜いた国旗・国歌法

の成立。小淵内閣は一放置国歌「返す刀で」に胸を張り、返す刀で「最終幣器」の二千円札発行を発表、延命をはかる▼若い女性に厚底ブーム。転んでけがをしたら、あれで運転して事故を起こしたり。それでもめげない「騒嬢高靴」。顔に涙シールをはる女性も見かけた。「厚靴滴面」である。若者男女を問わず、消臭グッズが流行した。われら「消臭民族」よ▼ロボット犬、アイボに人気。欧米ではこれを「機器飼々」と見た。半透明のパソコンなどが登場。「万物透製」だ。「産避両論」のうちには、避妊薬ピルが解禁。東京の真ん中に現れた猿を捕まえようと、人間が振り回される「猿獲茶劇」もあった▼もとより、四字がそのまま本質を示すとは限らない。が、気せむし1年の瀬でも、ごころ遊びの余裕くらく欲しい気もする。もうすべ元日。コンピューター二〇〇〇年問題の当目である。企業や役所の「紀末試験」の結果はどう出るか。

資料② どんな『創作四字熟語』があったかな

- 1 着歌繚乱 → 携帯電話の着信の歌がいたるところで鳴りまくること
- 2 再職件微 → 再び職に就く件数はごく微少です
- 3 無職当面 → 当面の間は無職です
- 4 課長風雪 → 課長たるもの、つらい世間の風や雨に耐えるのだ
- 5 地震震鳴 → 天地が震え、鳴き叫んだ年であった
- 6 安住模索 → 安住する場所を、皆探し求めた
- 7 又禍海峡 → また、わざわいの海峡になってしまった
- 8 落下老石 → 老いた石がトンネルの上から落ちてきた
- 9 招致千万 → オリンピック委員会の招致願望は、お笑いものだ
- 10 放置国歌 → 国歌の問題を放置していた
- 11 最終幣器 → 最後の切り札として二千円札紙幣をつくるぞ
- 12 騒嬢高靴 → 騒々しいお嬢さんは、かかとの高い靴をはいている
- 13 厚靴滴面 → 底の厚い靴や顔に涙シールを張る女性もいる
- 14 消臭民族 → 日本は臭いを消すことの好きな民族だ
- 15 機器飼々 → 日本はロボット機器を飼うことが好きな民族だ
- 16 万物透製 → パソコンでも透明な製品が増えてきた
- 17 産避両論 → お産をするか、それを避けるか両方の論がある
- 18 猿獲茶劇 → 猿を捕獲する茶番劇があった
- 19 紀末試験 → 世紀の末のコンピューター問題が試され検査されているようだ

資料④ 創作四字熟語作品例

裕氣凜々 (勇氣凜々) 余裕をいっぱいもって行動する
 我流訂正 (画竜点睛) 物事を自分勝手に直してしまうこと
 酷使無双 (国士無双) こんなに人を酷使する人はいない
 自画悲惨 (自画自賛) 自分のかいた絵は悲惨なものだ
 大胆素敵 (大胆不敵) 大胆な行動は素敵である

資料③ もとになった『四字熟語』は何?

- 1 着歌繚乱 → 百花繚乱 (すぐれた人、業績などが一時にたくさん現れること)
- 2 再職件微 → 才色兼備 (才能・容姿とも両方兼ね備えていること)
- 3 無職当面 → 無色透明 (色がなく透きとおっていること)
- 4 課長風雪 → 花鳥風月 (天地自然の美しい景色)
- 5 地震震鳴 → 天地神明 (天と地の神々)
- 6 安住模索 → 暗中模索 (暗闇の中で手探りで探すこと。手がかりのない物事を探し求めること)
- 7 又禍海峡 → マラッカ海峡 (マレー半島とスマトラ島との間の海峡)
- 8 落下老石 → 落花狼藉 (花を散らすような乱暴をすること)
- 9 招致千万 → 笑止千万 (たいそう笑うべきこと)
- 10 放置国歌 → 法治国家 (法に基づいて国家が治められている国)
- 11 最終幣器 → 最終兵器 (最後の兵器。つまり核兵器のこと)
- 12 騒嬢高靴 → 相乗効果 (複数の効果が1つひとつの効果以上の効果をあげること)
- 13 厚靴滴面 → 効果顕面 (とてもききめがあること)
- 14 消臭民族 → 少数民族 (数のうえで少数な民族)
- 15 機器飼々 → 奇々怪々 (奇怪を強めて言う言葉・非常に怪しく不思議なさま)
- 16 万物透製 → 万物創世 (天地すべてのもののできはじめ)
- 17 産避両論 → 賛否両論 (賛成と反対両方の考え)
- 18 猿獲茶劇 → 遠隔射撃 (遠く隔たっているところから射撃すること)
- 19 紀末試験 → 期末試験 (学期の終わりの試験)

1 新聞活用のねらい

新聞は、その記事内容によって、指導形態に豊富なバリエーションを与えてくれる。ここで取りあげる主題「つたえたい おもい」は、これまでの学習形態とは違い、保護者に参加を促し、より実生活に根ざした学習を目指す。加えて、より創造的かつ効果的な表現力の育成を目指す。

2 学習指導要領との関連

- 第2学年及び第3学年「B書くこと」の(1)のア ……広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集め、自分のものの見方や考え方を深めること。
- 第2学年及び第3学年「A話すこと・聞くこと」の(1)のウ ……話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。

3 学習計画と指導のポイント

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①コラムを読む ②記事の「つたえたい おもい」を理解する ③保護者に向けて自分なりの「つたえたい おもい」を考える ④保護者に「つたえたい おもい」を書いてもらう ⑤集まってきた作品を鑑賞する ⑥効果的な表現を考え、発表する | <ul style="list-style-type: none"> ●最近の無言化社会について、具体例をもとに考えさせる。 ●阿久悠さんの願っていた社会はどんな社会か考えさせる。 <p style="text-align: right;">資料①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コラムにある3つの「つたえたい おもい」を読み、表現のうまさを理解させる。 ●表現に気を配りながら、自分なりの「つたえたい おもい」を考えさせる。 <p style="text-align: right;">資料②</p> <ul style="list-style-type: none"> ●どちらから書いてもいい（働きかけてもいい）ということを理解させる。 <p style="text-align: right;">資料③</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公開する際には、生徒と保護者のプライバシーに配慮する。 ●効果的に伝えるために、抑揚、間の取り方に気をつけさせる。 ●心が表現できるように努力させる。 |
|---|---|

4 評価

- 自分の言葉を使って、気持ちを効果的に書き表すことができたか。
- 記事を読んで、筆者および阿久悠さんの考えが理解できたか。
- 自分の言葉を使って、気持ちを効果的に話すことができたか。

総合的な学習の時間の

ワンポイントアドバイス



▶「総合的な学習の時間」では、多様な学習形態が奨励されている。国語学習は、教室のなかでは教師対生徒という学習形態になりがちだが、保護者に参加してもらうことで、より現実的な活動が可能になる。また、与えられたものを知識として蓄えるだけでなく、それを自分の表現として創造していく活動とおして表現力の向上を目指すことができる。

資料① 朝日新聞 1999. 11. 21付朝刊

天声人語

「お出かけですか？」「ちょっとそこまで」。子どものころ、そういった大人の、無意味なうわべだけの会話に批判的だった。そんなことで人間社会がうまく保たれていると感じているなんて、許せないと思ってしまう▼作詞家・作家の阿久悠さんが、そう書いていた(読売新聞)。そして約五十年、少年の潔癖さゆえの願いは通じた。人々は何も話さなくなかった。人と人のちよとしたふれあいの場が無人になった。社会全体が、無言ですべて行えるようになった▼でも今、ムジのいい話だが、と阿久さんは続ける。ほくは、以前のそうした時代を懐かしんでいる。と。ほくが願っていたのは、このことではないのだ。と。——そう、その通り、と何度もうなずく。人間のぬくもりを、この社会はすいぶん失ってしまった。我が子虐待も珍しくはない▼そんな折、愛知県教育委員会が編んだ「つ

たえたい おもい」(非売品)を読んだ。親から子どもへ、子どもから親へのごとほを公募。一万余点から五百点を選んだ本である。たとえは(いつ)でも、どんな事でも、ずっと話し合える親子でいたいねへ(ねえ、お母さん)って言ったら「なあに」ってこっち向いてね(都筑雅子・真由美)へ小学校に入る前から、運動会で小学校の校庭を一生懸命走っている姿を想像して涙が出そうになったんだよ(僕達が母の日にあげた一日くうたら券と肩たたき券、買い物券を早く使え。二十年後に出して無効だからね(遠藤恵子・優)へお父さんが子どものころまでは、十五夜になるとウサギが目で毛子つきをしていたんだ。信じないだらな(ねえ、お父さん。ほんとうに神さまなんているの。もしいるならわるいことをしない人が、なぜかなしむの(河原弘史・尚音)人間は、やほしい。この社会、望みなきにあらずとも思う。

資料② 保護者にあてたお願い文

保護者の皆様へ

先日、新聞のコラムで別紙のような記事を見つけました。そこで、国語の「表現」の学習の一環として、仙台一中版を企画してみました。中学生という多感な時期だからこそ、きつと親から子供へ、子供から親への「つたえたい おもい」があるのではないかと思います。差し支えなければ、ご協力をおねがいしたいと思います。まずは、生徒のほうから、メッセージを書かせてみました。それに答える形でも、そうでなくても良いですから、お子さんへの「つたえたい おもい」を書いてください。ぜひ結構です。愛知県教育委員会編集のような素晴らしいものでなくても結構です。どうぞお気軽にお書き下さい。

「つたえたい おもい」

「生徒」

国語科担当 及川 正志

身体が弱いお母さん入院するたび早く戻ってほしいのこころでした。

これからはずーっと楽しんでください。

「保護者」

我慢させてごめん。
でも私はあなたがいってくれたおかげで
頑張れたんだよ。

年 組 番氏名 一

資料③ 「つたえたい おもい」 作品例

【保護者】

小学校の入学式の日、担任の先生に言われた「すてきな笑顔ですね」をいつまでも忘れないでね。

【生徒】

近頃、怒りっぽい顔ばかりの私……ごめん。(ホント)

【生徒】

私が親にできることってなんだろう？ 勉強？ でも勉強は自分のためだよ。いくら考えてもわからない。

【保護者】

何でもいいんだ。あなたがそこにいればよい。

【生徒】

小さい頃から毎日毎日レッスンの送り迎えありがとう。

【保護者】

発表会は、ハラハラドキドキ。子供の成長をこの目で実感できる私のほうが、ありがとう。